

教育の 改革と 将来像

脇田 稔 | 北海道大学副学長・理事・
教育改革室室長

大学での教育と高校までの教育は、連続していることが望ましいのは確かである。しかし、高校の教育の程度が上がったものが大学の教育であるという認識は誤りである。大学で、学生のなじんだ受験勉強と、大学で行われる一般教養教育の間に、しばしばずれが生じる。大学ではどの専門分野に進んでもその教育に耐えるよう教養教育をまず行う。「学問の基礎体力」の養成といえる。北大はこのために入試と教養教育課程の改善を行った。北大の事例を基に、教育の改革と将来像について考える。

2011年 1月 29日 (土)
13:30 ~ 15:00

北大総合博物館 1 階
「知の交流」コーナー

「博物館を舞台とした体験型全人教育の推進」事務局

Hokkaido Univ.



〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 北大総合博物館内
TEL & FAX: 011-706-4704 (内線4704)

E-mail: ts3110@museum.hokudai.ac.jp

HP: <http://museum-sv.museum.hokudai.ac.jp/activity/edu-gp08/>

Museum
Education GP

入場無料・申込不要